

青森県入札監視委員会議事概要

- 開催日時 令和7年6月13日(金) 9:30～11:45
- 開催場所 青森県庁北棟2階222会議室
- 出席委員 委員長 小藤 一樹 (八戸工業大学教授)
委員 百済 飛希 (東日本建設業保証(株)青森支店長)
委員 青山 直人 (青森公立大学教授)
委員 遠藤 明 (弘前大学教授)
委員 葛西 洋輔 (弁護士)
- 県事務局 監理課建設業振興グループ 川越副参事、武藤主幹
木村主査、加福主事

○ 次第

1 開会

2 議事

(1) 入札方式別発注工事及び指名停止の運用状況等の報告

川越副参事から、「令和6年10月1日から令和7年3月31日までの間に行われた入札方式別発注工事の状況」、「建設工事における最低制限価格及び低入札価格調査基準価格」及び「令和6年11月1日から令和7年4月30日までの間に行われた指名停止の運用状況(計8件)」について、報告があった。

(2) 抽出結果の報告

抽出の委任を受けた青山委員から、入札方式別発注工事一覧表から入札方式別に計7件抽出したことが報告された。

(抽出事案一覧)

	入札契約方法	工事名	発注機関名
①	一般競争入札	営工東青6第1101号 青森県立盲学校・青森県立青森聾学校改築工事	財務部
②	条件付き一般競争入札	第1528号 国道280号交通安全対策工事	東青県土整備事務所
③	指名競争入札	第4号 衛生研究所エアコン更新・設置工事	健康医療福祉部
④	指名競争入札	河床第5072号 大秋川河床整理工事	中南県土整備事務所
⑤	指名競争入札	繰緊浚第6792号 市ノ渡川河床整理工事	上北県土整備事務所

⑥	随意契約	債第 6030 号 馬淵川外河川維持工事	三八県土整備事務所
⑦	条件付き一般競争入札	6 水流第 4010-1-2 号 小泊地区水産流通基盤整備工事	農林水産部

(3) 抽出事案の審議 (要旨)

① 一般競争入札

「営工東青 6 第 1101 号 青森県立盲学校・青森県立青森聾学校改築工事」
財務部

委員 (敬称略)	質問・意見	回答
青山	入札の参加条件として、工事中の学生の安全性の配慮は含まれているのか。	本件は総合評価落札方式を採用しており、技術提案という形で「工事中の周囲及び生徒への安全確保に関する工夫」を評価対象としています。また、既存のグラウンドに新たに建設する工事であるため、工事と生徒が利用する動線は別になっており、安全面を考慮したうえで施工しています。
遠藤	工事の技術的適正を確保するため概算設計金額の 70% としたとあるが、根拠はあるか。	一般競争入札の事務取扱要領にはないため、条件付き一般競争入札の事務取扱要領に定められている特殊施工（大規模や工事が多岐にわたるもの）時の 70% を採用しています。この際、想定業者数が 52 者であったため、70% でも問題ないと考えています。
	52 者は日本全国での数か。	青森県の名簿に登録されており、JV の代表者となれる業者の数が 52 者いることとなります。
小藤	入札参加者を増やすという視点からみると、WTO 案件は通常の場合条件付き一般競争入札に比べて有利になるか。	過去の案件でもそうですが、WTO 案件になると金額の条件等を理由に入札参加者数は少なくなる傾向にあります。
	WTO の工事基準額は定期的に変更になるのか。	そうです。2 年ごとに為替変動を適正に反映するための改定が行われており、令和 6 ～ 7 年度建設工事の基準額については 27 億 2 千万円となっています。

葛西	現在の聾学校の解体工事は本件に含まれているのか。	含まれていません。本件にて建物が完成した後に、旧聾学校を解体してグラウンドにします。その解体工事は別途入札を行う予定です。
百済	青山委員の質問に重なる部分があるが、設計の段階で安全性等の配慮は何かあったのか。	通常の学校であれば、直角の建物が多いと思いますが、設計の段階から外国の学校等を研究し、施設側と相談を重ねた結果、今回のような湾曲した建物を採用することになりました。また、利用者が使いやすい施設になるよう配慮のうえで、設計をしています。

② 条件付き一般競争入札

「第 1528 号 国道 280 号交通安全対策工事」

東青県土整備事務所

委員	質問・意見	回答
青山	入開札一覧表にて 1 番の業者が数値的判断基準で失格となっているがなぜか。	調査基準価格を下回る入札となった場合は、「青森県低入札価格調査制度運用マニュアル」に則り適正かを確認しています。この業者は、数値的判断基準の 4 項目のうち、直接工事費が失格基準に抵触したため、失格となっています。
遠藤	1 番の業者が直接工事費で基準を下回ったとのことだが、どの程度か。	1 番の業者は直接管理費で 1 円下回ったため失格となりました。

③ 指名競争入札

「第 4 号 衛生研究所エアコン更新・設置工事」

健康医療福祉部

委員	質問・意見	回答
青山	衛生研究所のエアコンということだが、何か特別な配慮が必要なのか。	温度と湿度の調整ができれば、通常のエアコンで特段問題ありません。従前から同様の取扱いで対応しています。
小藤	辞退者が多いことへの対応策として、発注時	具体的な時期はお示しできませんが、今回 9 月補正対応で遅いと感じたため、年度初めの当初予算

	期を早めるとあるが、具体的にはどの程度早いとよいと考えるか。	にて段取りができれば、今よりも改善されるのではと考えています。
葛西	落札業者は普段から空調の維持管理をしているとのことだが、エアコンの事前準備等で他業者より有利だった可能性はないか。	維持管理の観点から、空調の状況について相談することはありますが、落札業者もエアコンの入札時期が分からないと初回の打合せ時に発言しており、本件の入札に影響はなかったと考えています。
百済	添付されている仲裁合意書の中身について説明がほしい。	(川越副参事説明) 工事の契約時には、当事者間で仲裁合意書を取り交わすこととなっていますが、仲裁をする紛争審査会については、中央と地方のどちらかを選ぶことが可能で、今回は地方（青森県）の審査会を選択しました。何か紛争事があった際は、青森県の紛争審査会にて仲裁等を行うことができます。また、この合意書は全ての工事を取り交わすことになっています。

④ 指名競争入札

「河床第 5072 号 大秋川河床整理工事」

中南県土整備事務所

委員	質問・意見	回答
青山	15 者中 13 者が辞退となっているが、どのような理由が考えられるか。	河川工事は台風が過ぎた 10 月以降の発注となることから、その時期までに別の工事を請け負っていれば、技術者不足等を理由に辞退しているのではないかと考えています。また、場所が西目屋村で遠方となり、冬工事であることも要因だと考えられます。
	辞退者を減らすためにはどうすべきか。	台風前の春先に発注することが考えられますが、予算の都合上、他に優先される工事が多く、実際は難しいと思います。

⑤ 指名競争入札

「繰緊浚第 6792 号 市ノ渡川河床整理工事」

上北県土整備事務所

委員	質問・意見	回答
青山	1 2 者中 1 1 者が辞退となっているが、どのような理由が考えられるか。	一部業者に聞き取りしたところ、他の工事との兼ね合いで技術者の配置が困難だという理由が多く挙げられました。
	隣接する東北町と十和田市の B 級業者は何者いるのか。	1 6 者です。
葛西	B 級業者で今回指名していない業者（点数の低かった業者）の方が請けやすい可能性はないか。	業者の事情によるので、一概に可能性が高いとは言えません。
小藤	辞退理由の技術者の配置が困難とは、技術者と職人のどちらが不足していると考えるか。	有資格者（技術者）と考えています。

⑥ 随意契約

「債第 6030 号 馬淵川外河川維持工事」

三八県土整備事務所

委員	質問・意見	回答
青山	青い森鉄道が認定する「鉄道特異業者（土木）」はいつでも登録することは出来るのか。	発注者側は直接特異業者を教えてもらえないので、詳細はお答えできませんが、鉄道の近接工事の実績を下請等で積み上げると、青い森鉄道が独自に資格を認定する仕組みだと伺っています。
	三戸圏内には 1 者のみか。	そうです。近隣では、八戸圏内も 1 者となっています。
小藤	土嚢袋はどこで保管しているのか。	落札業者が管理しています。
青山	土嚢の設置・撤去は 6 回分で契約していると	6 回を上回る際は、変更契約を交わして増額対応します。逆に下回った際は、減額の変更契約を交

	あるが、大雨等で回数が増加した際はどうするのか。	わします。
--	--------------------------	-------

⑦ 条件付き一般競争入札

「6 水流第 4010-1-2 号 小泊地区水産流通基盤整備工事」

農林水産部

委員	質問・意見	回答
青山	入札参加者数が 2 者は少ないと考えてよいのか。	はい。参加資格者数は 20 者を想定して設計しましたが、本件は 2 者のみの参加となりました。
	2 者しか参加しなかった要因は何と考えるのか。	技術者の配置が困難なことが要因だと考えます。また、海の工事であるため、作業船の確保が必須ですが、20 者のうち、自社で船を持っている業者は数者であり、船の確保が困難であったことも大きな要因だと考えています。
	船を貸してくれる業者はどれぐらいあるのか。	管内では 3～4 者です。

3 その他

- (1) 前回審議の際に提供した「低入札価格調査の基準に係る資料」を次回審議以降、参考資料として各委員へ事前に提供することとした。
- (2) 次回開催予定日は、令和 7 年 9 月頃別途各委員へ日程照会を行うこととした。

4 閉会

事務局： 青森県県土整備部監理課建設業振興グループ

電話： 017-734-9640